

第43回 河内長野市民意識調査

<公共交通>と  
<公共施設>について  
～<公共施設>抜粋～



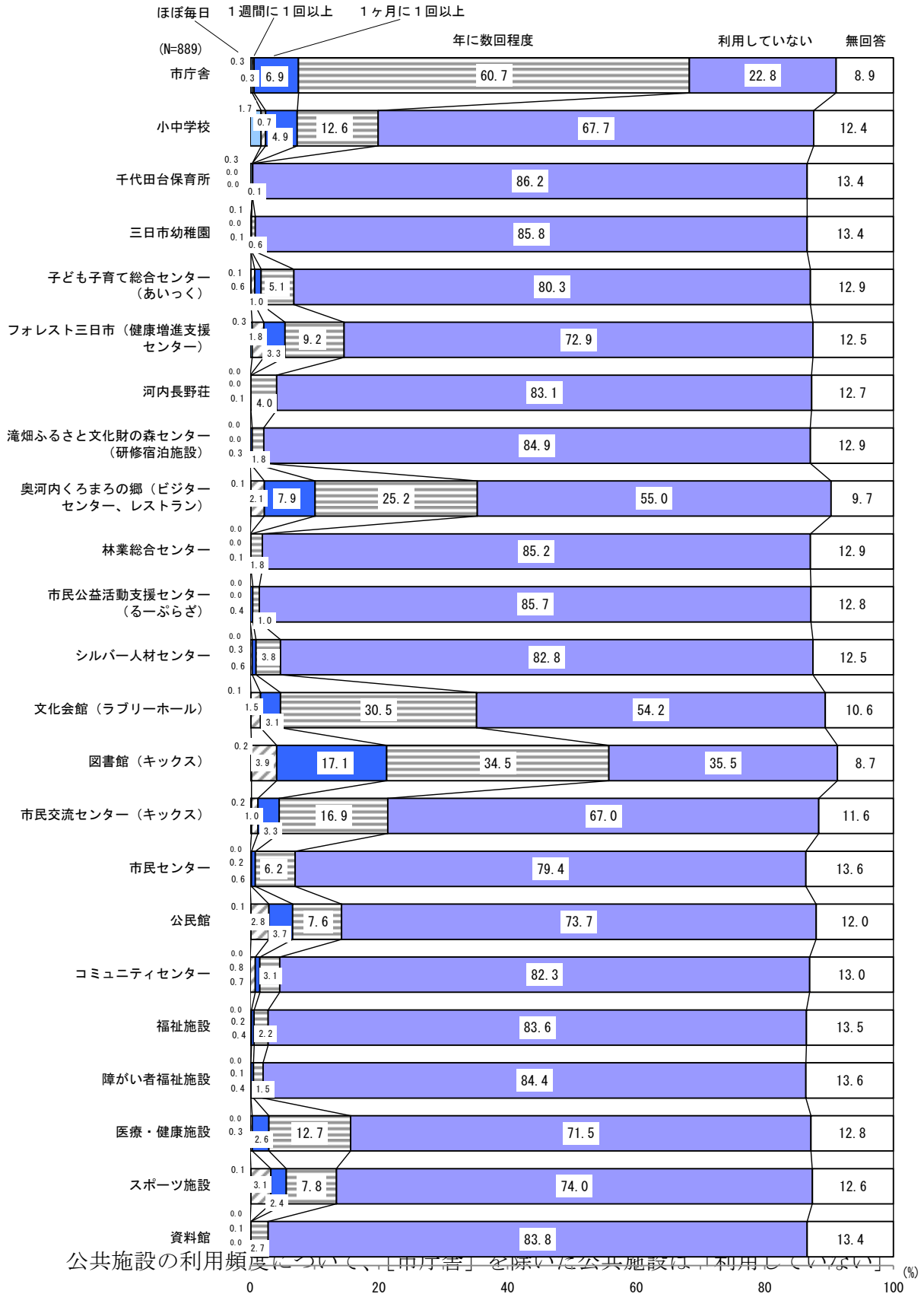
平成28年度

河内長野市

## 2. 公共施設について

### (1) 公共施設の利用頻度

問32 あなたは過去1年間で、公共施設をどのくらい利用されましたか。公共施設の種類ごとに、該当する番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

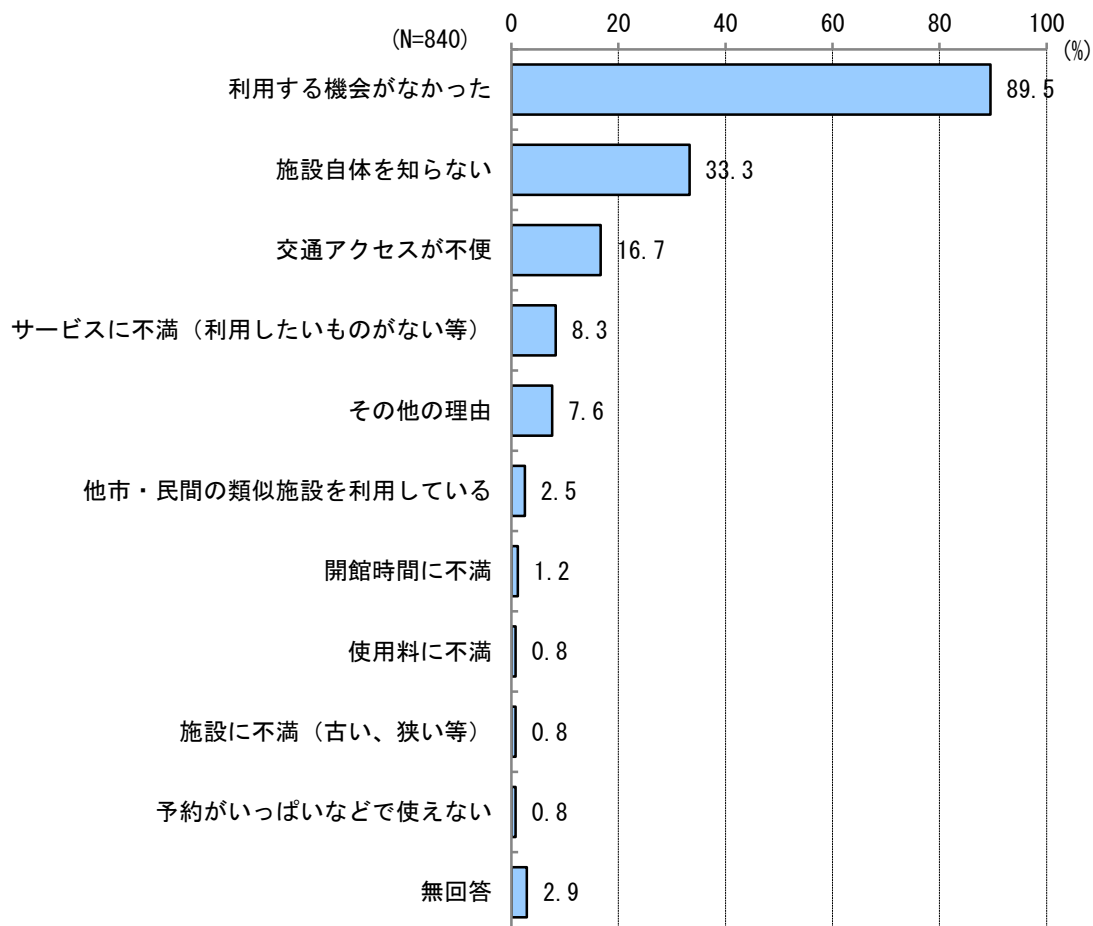


が最も多くなっている。「年に数回程度」では、[市庁舎] が60.7%で最も高く、次いで [図書館 (キックス)] が34.5%、[文化会館 (ラブリーホール)] が30.5%、[奥河内くろまろの郷 (ビジターセンター、レストラン)] が25.2%、[市民交流センター (キックス)] が16.9%となっている。また、月に1回以上利用している割合では、[図書館 (キックス)] が21.2%で最も高く、次いで [奥河内くろまろの郷 (ビジターセンター、レストラン)] が10.1%、[市庁舎] が7.5%、[小中学校] が7.3%となっている。

## (2) 公共施設の利用頻度が低い理由

【問32で「年に数回程度」「利用していない」を選んだ方におうかがいします。】

問33 その理由に該当する番号に○印をつけてください。(○は3つまで)



公共施設の利用頻度が低い人に、その理由をたずねると、「利用する機会がなかった」が89.5%で最も多く、次いで「施設自体を知らない」が33.3%、「交通アクセスが不便」が16.7%となっている。

■ 性別・年代別・地域別

(%)

		N	た利用 する機会 がなかつ	施設 自体を 知らない	交通 アクセス が不便	サー ビスに 不満(利 用し ない等)	他市・ 民間の 類似施 設を利 用して いる	開館 時間 に不満	使用 料に 不満	施設 に不満 (古い、 狭 い等)	予約 がいつ ぱい などで 使え ない	その 他の 理由	無 回 答
<b>全体</b>		<b>840</b>	<b>89.5</b>	<b>33.3</b>	<b>16.7</b>	<b>8.3</b>	<b>2.5</b>	<b>1.2</b>	<b>0.8</b>	<b>0.8</b>	<b>0.8</b>	<b>7.6</b>	<b>2.9</b>
性別	男性	369	90.8	32.8	14.4	7.0	3.3	1.6	0.3	1.1	0.8	7.3	3.5
	女性	465	89.2	34.0	18.1	9.2	1.7	0.9	1.3	0.6	0.9	7.3	2.4
年代別	18・19歳	41	92.7	36.6	9.8	9.8	2.4	-	-	-	-	2.4	2.4
	20歳代	93	93.5	41.9	10.8	7.5	5.4	1.1	1.1	-	1.1	4.3	-
	30歳代	98	93.9	38.8	10.2	13.3	2.0	1.0	-	1.0	1.0	5.1	2.0
	40歳代	155	93.5	35.5	13.5	11.0	3.2	1.9	1.3	1.3	-	4.5	1.9
	50歳代	148	93.9	39.2	15.5	9.5	1.4	0.7	-	1.4	2.0	7.4	2.0
	60歳代	170	90.6	28.2	19.4	4.1	1.8	1.8	0.6	-	-	9.4	2.4
	70歳代	98	74.5	20.4	28.6	8.2	1.0	1.0	3.1	2.0	2.0	14.3	8.2
	80歳以上	35	65.7	17.1	28.6	-	2.9	-	-	-	-	17.1	8.6
地域別	長野地域	163	90.8	29.4	12.3	7.4	2.5	1.8	0.6	0.6	-	7.4	3.1
	東地域	170	88.8	30.6	18.2	8.8	2.9	-	1.8	0.6	0.6	5.9	5.3
	千代田地域	182	87.9	41.2	18.1	7.7	1.6	0.5	1.1	1.6	1.1	6.6	0.5
	西地域	70	87.1	31.4	11.4	10.0	2.9	-	1.4	-	1.4	8.6	4.3
	加賀田地域	87	88.5	32.2	18.4	10.3	3.4	3.4	-	1.1	1.1	10.3	2.3
	美加の台地域	67	97.0	37.3	14.9	6.0	4.5	-	-	-	-	9.0	3.0
	南花台地域	69	88.4	27.5	20.3	10.1	1.4	2.9	-	1.4	2.9	7.2	1.4

性別で見ると、男女とも「利用する機会がなかった」が9割前後と高く、ほとんど差はみられない。

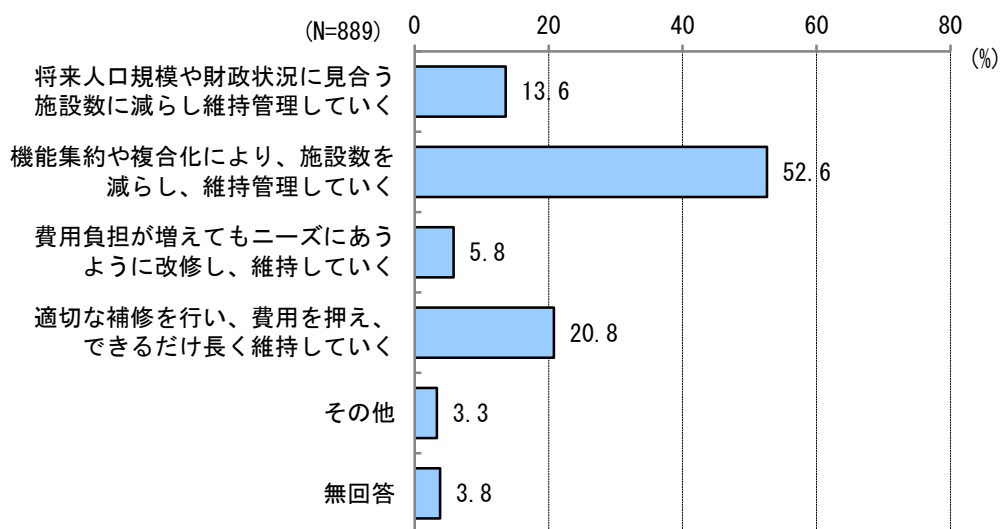
年代別で見ると、いずれの年代も「利用する機会がなかった」が最も多くなっている。また、「施設自体を知らない」が18～50歳代で4割前後となっており、70歳以上の年代になると「交通アクセスが不便」が3割程度に上昇している。

地域別で見ると、いずれの地域も「利用する機会がなかった」が8～9割台と高くなっている。千代田地域では「施設自体を知らない」が41.2%と他の地域に比べ高くなっている。

### (3) 今後の公共施設の整備の方向性

問34 本市では今後の人口減少、少子高齢化による市税収の減収や、医療・介護にかかる社会保障関係経費の増加などを踏まえ、今あるすべての公共施設を現状のまま将来にわたり維持していくことは困難となっています。

(1) 今後の公共施設の整備の方向性について、あなたの考えに近いものを1つ選び、該当する番号に○印をつけてください。(○は1つ)



今後の公共施設の整備の方向性について、「機能集約や複合化により、施設数を減らし、維持管理していく」が52.6%で最も多く、次いで「適切な補修を行い、費用を押し、できるだけ長く維持していく」が20.8%、「将来人口規模や財政状況に見合う施設数に減らし維持管理していく」が13.6%となっている。

■ 性別・年代別・地域別

(%)

	N	維持管理していく	将来人口規模や財政状況に見合う施設数に減らし維持管理していく	機能集約や複合化により施設数を減らし、維持管理していく	ニーズにあうように改修し、維持していく	費用負担が増えてもニーズにあうように改修し、維持していく	適切な補修を行い、費用を押え、できるだけ長く維持していく	その他	無回答
<b>全体</b>	<b>889</b>	<b>13.6</b>	<b>52.6</b>	<b>5.8</b>	<b>20.8</b>	<b>3.3</b>	<b>3.8</b>		
性別	男性	387	13.7	52.2	5.9	20.2	3.4	4.7	
	女性	494	13.0	53.6	5.7	21.5	3.0	3.2	
年代別	18・19歳	43	20.9	37.2	7.0	25.6	7.0	2.3	
	20歳代	94	6.4	61.7	13.8	16.0	2.1	-	
	30歳代	99	13.1	57.6	5.1	20.2	3.0	1.0	
	40歳代	159	14.5	58.5	3.8	18.2	1.3	3.8	
	50歳代	151	11.3	58.9	7.9	15.2	4.0	2.6	
	60歳代	187	14.4	52.9	4.3	21.4	3.7	3.2	
	70歳代	110	16.4	39.1	2.7	30.9	3.6	7.3	
	80歳以上	44	18.2	27.3	2.3	29.5	4.5	18.2	
地域別	長野地域	170	15.3	54.1	4.7	21.2	1.2	3.5	
	東地域	178	12.4	55.6	6.2	18.5	3.9	3.4	
	千代田地域	189	16.4	51.3	6.9	20.1	2.1	3.2	
	西地域	76	15.8	53.9	2.6	19.7	6.6	1.3	
	加賀田地域	95	9.5	43.2	4.2	29.5	7.4	6.3	
	美加の台地域	69	8.7	65.2	7.2	14.5	1.4	2.9	
	南花台地域	75	12.0	48.0	9.3	22.7	4.0	4.0	

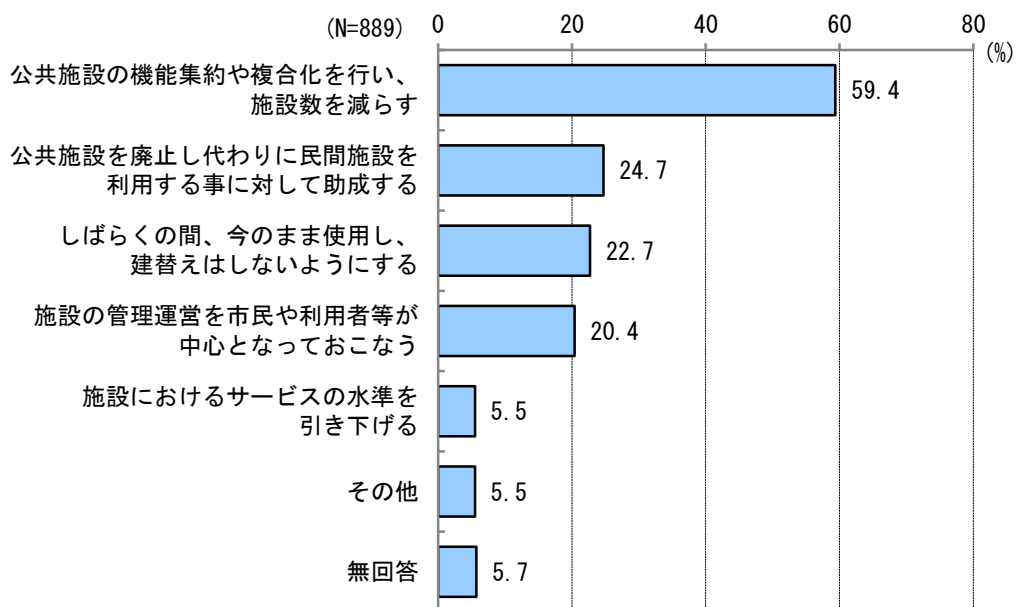
性別で見ると、男女とも「機能集約や複合化により、施設数を減らし、維持管理していく」が最も多く、大きな差はほとんどみられない。

年代別で見ると、18～70歳代は「機能集約や複合化により、施設数を減らし、維持管理していく」が最も多く、特に20～60歳代は5～6割台と高くなっている。また、20歳代は他の年代に比べて「将来人口規模や財政状況に見合う施設数に減らし維持管理していく」(6.4%)は低くなっているが、「費用負担が増えてもニーズにあうように改修し、維持していく」(13.8%)では高くなっている。70歳以上の年代になると「適切な補修を行い、費用を押え、できるだけ長く維持していく」が3割前後に上昇しており、80歳以上では29.5%で最も多い。

地域別で見ると、いずれの地域も「機能集約や複合化により、施設数を減らし、維持管理していく」が最も多くなっており、なかでも美加の台地域は65.2%と他の地域に比べ高くなっている。また、加賀田地域と美加の台地域は「将来人口規模や財政状況に見合う施設数に減らし維持管理していく」が1割未満と他の地域に比べ低くなっているが、加賀田地域では「適切な補修を行い、費用を押え、できるだけ長く維持していく」が29.5%と他の地域に比べ高くなっている。

#### (4) 今後の取組みとして必要な対策

(2) 今後、業務の効率化や職員配置の適正化、維持管理費の削減などの取組みに加えて、さらなる対策が必要です。あなたの考えに近いものを選び、番号に○印をつけてください。(○は3つまで)



今後の取組みとして必要な対策について、「公共施設の機能集約や複合化を行い、施設数を減らす」が59.4%で最も多く、次いで「公共施設を廃止し代わりに民間施設を利用する事に対して助成する」が24.7%、「しばらくの間、今のまま使用し、建替えはしないようにする」が22.7%、「施設の管理運営を市民や利用者等が中心となっておこなう」が20.4%となっている。



■ 性別・年代別・地域別

(%)

		N	複合化を 行ない、 施設集約 や減らす	民間施設 を利用して 助成する	公共施設 を廃止し 代わり	ように する	しばらく の間、 今は ないま	利用者 等が 中心 となつ て	施設の 管理運 営を 市民 や	施設に おける サービ スの	水 準を 引き 下げ る	その 他	無 回 答
<b>全体</b>		<b>889</b>	<b>59.4</b>	<b>24.7</b>	<b>22.7</b>	<b>20.4</b>	<b>5.5</b>	<b>5.5</b>	<b>5.7</b>				
性別	男性	387	61.8	25.6	20.4	22.2	6.5	5.9	5.7				
	女性	494	58.3	24.3	23.9	18.8	4.9	5.1	5.9				
年代別	18・19歳	43	37.2	23.3	32.6	18.6	2.3	2.3	4.7				
	20歳代	94	67.0	24.5	17.0	18.1	8.5	9.6	2.1				
	30歳代	99	63.6	35.4	20.2	21.2	4.0	5.1	3.0				
	40歳代	159	60.4	30.2	22.6	12.6	6.9	5.0	6.3				
	50歳代	151	67.5	28.5	17.2	18.5	2.6	7.3	4.0				
	60歳代	187	59.9	16.0	23.5	24.1	6.4	5.9	7.0				
	70歳代	110	50.9	17.3	28.2	29.1	6.4	1.8	7.3				
	80歳以上	44	43.2	25.0	31.8	22.7	4.5	4.5	15.9				
地域別	長野地域	170	60.0	22.4	23.5	20.6	5.9	5.3	4.7				
	東地域	178	61.8	25.3	22.5	18.0	5.6	3.9	5.1				
	千代田地域	189	61.9	22.2	21.2	22.8	3.2	3.7	3.7				
	西地域	76	65.8	27.6	25.0	18.4	5.3	7.9	1.3				
	加賀田地域	95	52.6	23.2	27.4	17.9	8.4	8.4	12.6				
	美加の台地域	69	56.5	31.9	15.9	26.1	4.3	4.3	10.1				
	南花台地域	75	53.3	26.7	26.7	14.7	8.0	10.7	4.0				

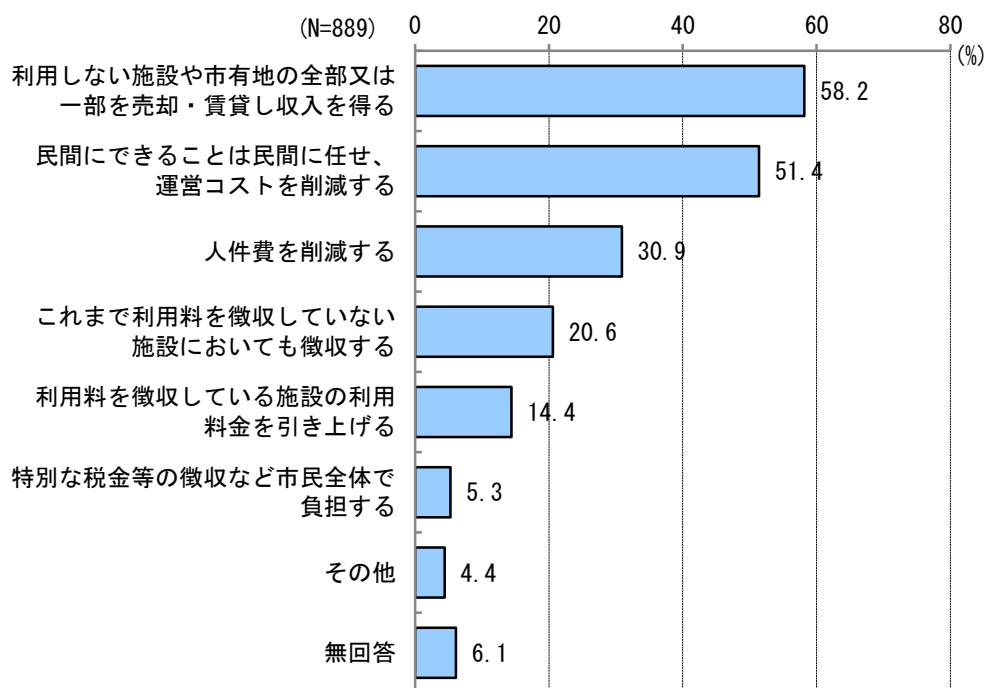
性別で見ると、男性は「施設の管理運営を市民や利用者等が中心となっておこなう」が女性に比べ3.4ポイント高い。女性は「しばらくの間、今のまま使用し、建替えはしないようにする」が3.5ポイント高くなっている。

年代別で見ると、いずれの年代も「公共施設の機能集約や複合化を行い、施設数を減らす」が最も多く、20～70歳代は5～6割台と高くなっている。また、30歳代は「公共施設を廃止し代わりに民間施設を利用する事に対して助成する」(35.4%)が他の年代に比べ高くなっており、18・19歳と70歳以上の年代は「しばらくの間、今のまま使用し、建替えはしないようにする」が3割前後で、70歳代では「施設の管理運営を市民や利用者等が中心となっておこなう」(29.1%)が他の年代に比べ高くなっている。

地域別で見ると、いずれの地域も「公共施設の機能集約や複合化を行い、施設数を減らす」が5～6割台で最も多くなっている。また、美加の台地域は他の地域に比べて「公共施設を廃止し代わりに民間施設を利用する事に対して助成する」(31.9%)は高く、「しばらくの間、今のまま使用し、建替えはしないようにする」では低くなっている。

(5) 維持管理費の削減や財源確保の面から必要だと思う取組み

(3) (2) 以外の対策で、維持管理費の削減や財源確保の面から必要だと思う取組みについて、あなたの考えに近いものを選び、番号に○印をつけてください。  
(○は3つまで)



維持管理費の削減や財源確保の面から必要だと思う取組みについて、「利用しない施設や市有地の全部又は一部を売却・賃貸し収入を得る」が58.2%で最も多く、次いで、「民間にできることは民間に任せ、運営コストを削減する」が51.4%と半数を超えており、「人件費を削減する」が30.9%となっている。

■ 性別・年代別・地域別

(%)

	N	賃の利 貸全用 しし 収入 を得 る	利用 しない 施設 や市 有地	減 する	民間 に 任せ 、 運 営 コ ス ト を 削 減 す る	人 件 費 を 削 減 す る	徴 収 す る	これ まで 利用 料を 徴収 して いる 施 設	利 用 料 を 徴 収 し て い る 施 設 の 利 用 料 金 を 引 き 上 げ る	市 民 特 別 な 税 金 等 の 徴 収 な ど	そ の 他	無 回 答
全体	889	58.2	51.4	30.9	20.6	14.4	5.3	4.4	6.1			
性別	男性	387	58.9	51.2	32.6	23.3	18.6	5.9	6.2	5.9		
	女性	494	57.7	51.4	30.2	18.2	11.3	4.9	2.8	6.1		
年代別	18・19歳	43	55.8	48.8	25.6	9.3	7.0	11.6	-	-		
	20歳代	94	62.8	55.3	28.7	17.0	18.1	6.4	2.1	3.2		
	30歳代	99	71.7	52.5	32.3	17.2	11.1	2.0	5.1	4.0		
	40歳代	159	59.7	53.5	34.0	11.9	13.2	8.2	3.8	5.0		
	50歳代	151	57.0	53.0	31.8	19.9	14.6	4.6	4.6	5.3		
	60歳代	187	55.6	51.3	31.0	23.5	15.0	3.7	5.9	6.4		
	70歳代	110	52.7	49.1	30.0	37.3	19.1	6.4	5.5	7.3		
	80歳以上	44	43.2	34.1	27.3	25.0	11.4	-	4.5	25.0		
地域別	長野地域	170	61.2	49.4	32.4	20.6	11.2	4.1	5.3	4.7		
	東地域	178	55.1	51.1	29.2	23.6	11.8	4.5	3.9	5.6		
	千代田地域	189	60.3	50.3	34.4	15.3	13.2	4.8	2.6	9.0		
	西地域	76	56.6	48.7	27.6	27.6	19.7	9.2	2.6	3.9		
	加賀田地域	95	51.6	45.3	32.6	23.2	22.1	4.2	4.2	8.4		
	美加の台地域	69	63.8	60.9	23.2	13.0	11.6	5.8	10.1	2.9		
	南花台地域	75	54.7	54.7	38.7	22.7	20.0	6.7	6.7	4.0		

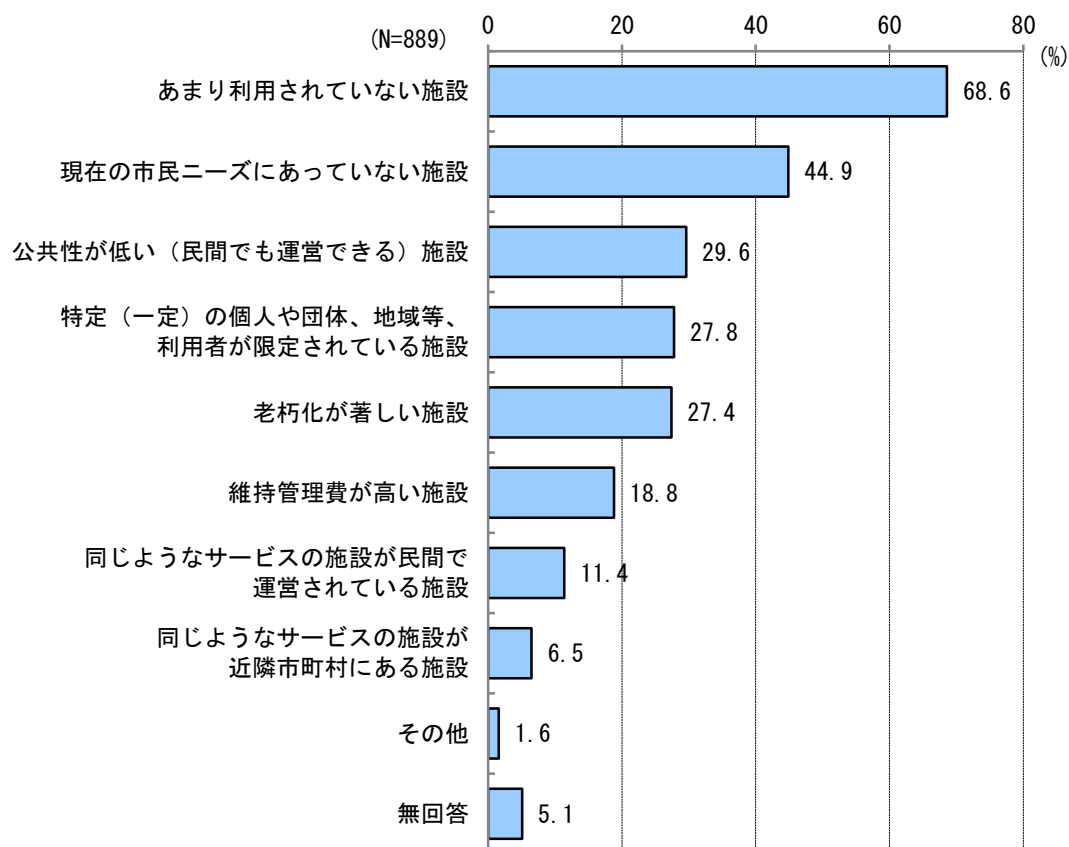
性別で見ると、男性は女性に比べて「これまで利用料を徴収していない施設においても徴収する」が5.1ポイント、「利用料を徴収している施設の利用料金を引き上げる」が7.3ポイント高くなっている。

年代別で見ると、いずれの年代も「利用しない施設や市有地の全部又は一部を売却・賃貸し収入を得る」が最も多く、なかでも30歳代は71.7%、20歳代は62.8%と高くなっている。また、70歳代では「これまで利用料を徴収していない施設においても徴収する」(37.3%)が他の年代に比べ高くなっている。

地域別で見ると、いずれの地域も「利用しない施設や市有地の全部又は一部を売却・賃貸し収入を得る」が最も多く、南花台地域は同率で「民間にできることは民間に任せ、運営コストを削減する」も多くなっている。また、西地域や加賀田地域、南花台地域では「利用料を徴収している施設の利用料金を引き上げる」が2割前後となっている。

## (6) 機能集約や複合化により施設数を減らす対象となる公共施設

(4) 今後、機能集約や複合化により、施設数を減らすとしたら、どのような公共施設を対象とすべきとお考えですか。あなたの考えに近いものを選び、番号に○印をつけてください。(○は3つまで)



機能集約や複合化により施設数を減らす対象となる公共施設については、「あまり利用されていない施設」が68.6%で最も多く、次いで「現在の市民ニーズにあっていない施設」が44.9%、「公共性が低い(民間でも運営できる)施設」が29.6%となっている。

■ 性別・年代別・地域別

(%)

		N	あまり利用されていない施設	現在の市民ニーズにあつていない施設	公共性が低い（民間でも運営できる）施設	特定（一定）の個人や団体、地域等、利用者が限定されている施設	老朽化が著しい施設	維持管理費が高い施設	同じようなサービスのない施設	同じようなサービスのある施設	その他	無回答
<b>全体</b>		<b>889</b>	<b>68.6</b>	<b>44.9</b>	<b>29.6</b>	<b>27.8</b>	<b>27.4</b>	<b>18.8</b>	<b>11.4</b>	<b>6.5</b>	<b>1.6</b>	<b>5.1</b>
性別	男性	387	68.5	47.5	33.1	32.8	22.5	16.5	13.4	7.0	1.3	4.9
	女性	494	69.2	42.9	26.7	24.3	31.0	20.6	9.5	6.3	1.8	5.1
年代別	18・19歳	43	83.7	37.2	16.3	11.6	27.9	16.3	9.3	16.3	2.3	2.3
	20歳代	94	63.8	51.1	37.2	28.7	29.8	18.1	13.8	3.2	1.1	2.1
	30歳代	99	68.7	53.5	30.3	17.2	33.3	13.1	15.2	7.1	2.0	2.0
	40歳代	159	71.7	46.5	28.3	27.7	29.6	18.2	10.7	8.2	1.9	3.1
	50歳代	151	65.6	49.7	30.5	29.1	33.8	18.5	11.3	5.3	-	6.0
	60歳代	187	70.1	43.3	33.7	29.9	21.4	19.3	9.6	6.4	2.7	4.3
	70歳代	110	71.8	37.3	25.5	37.3	25.5	23.6	11.8	2.7	1.8	7.3
	80歳以上	44	50.0	22.7	18.2	29.5	9.1	25.0	9.1	11.4	-	22.7
地域別	長野地域	170	72.9	49.4	28.2	19.4	32.4	22.4	9.4	7.6	1.2	3.5
	東地域	178	62.9	41.0	30.3	34.3	32.6	18.0	13.5	5.6	2.2	4.5
	千代田地域	189	69.8	45.0	30.2	24.9	25.9	19.6	12.7	5.8	0.5	5.8
	西地域	76	64.5	52.6	27.6	31.6	23.7	17.1	13.2	10.5	2.6	2.6
	加賀田地域	95	70.5	37.9	23.2	25.3	26.3	17.9	9.5	7.4	3.2	9.5
	美加の台地域	69	69.6	49.3	37.7	27.5	21.7	14.5	7.2	1.4	2.9	5.8
	南花台地域	75	72.0	44.0	34.7	33.3	20.0	18.7	10.7	5.3	-	5.3

性別で見ると、男性は女性に比べて「公共性が低い（民間でも運営できる）施設」が6.4ポイント、「特定（一定）の個人や団体、地域等、利用者が限定されている施設」が8.5ポイント高くなっている。一方、女性では「老朽化が著しい施設」が男性に比べ8.5ポイント高くなっている。

年代別で見ると、いずれの年代も「あまり利用されていない施設」が最も多くなっている。また、20～30歳代は「現在の市民ニーズにあつていない施設」が5割台と高く、70歳代では「特定（一定）の個人や団体、地域等、利用者が限定されている施設」が37.3%と他の年代に比べ高くなっており、70歳以上の年代になると「維持管理費が高い施設」が2割台に上昇している。

地域別で見ると、いずれの地域も「あまり利用されていない施設」が最も多くなっている。また、長野地域と東地域は「老朽化が著しい施設」、西地域は「現在の市民ニーズにあつていない施設」、美加の台地域と南花台地域は「公共性が低い（民間でも運営できる）施設」が、それぞれ他の地域に比べ高くなっている。

## (7) 機能集約や複合化の対象とすべき公共施設とその理由

(5) (4) の対象とすべき公共施設で具体的なものがあれば、その施設名（または、公共施設の種類）と理由をお書きください。

### 【機能集約】

公共施設の種類	件数
・ 公民館	15
・ フォレスト三日市（健康増進支援センター）	12
・ 奥河内くろまるの郷（ビジターセンター、レストラン）	11
・ コミュニティセンター	10
・ 滝畑ふるさと文化財の森センター（研修宿泊施設）	9
・ 林業総合センター（木根館）	9
・ 市民公益活動支援センター（るーぷらざ）	9
・ 医療・健康施設	8
・ 市営住宅	8
・ 三日市幼稚園	7
・ 市民センター	7
・ 資料館	7
・ 河内長野荘	6
・ 福祉施設	6
・ スポーツ施設	5
・ 千代田台保育所	4
・ 市民交流センター（キックス）	4
・ 子ども子育て総合センター（あいつく）	2
・ シルバー人材センター	2
・ 文化会館（ラブリーホール）	2
・ 図書館（キックス）	1
・ 障がい者福祉施設	1
・ その他（老人介護施設）	1

機能集約の対象とすべき公共施設として、『公民館』が15件で最も多く、理由は「キックスだけで十分」や「3～4ヶ所くらいに集約できる」などが挙げられている。続いて多いのは『フォレスト三日市（健康増進支援センター）』が12件となっており、理由は「医療・健康と類似している」などが挙げられている。

## 【複合化】

公共施設の種類	件数
・ 林業総合センター（木根館）	13
・ 資料館	11
・ フォレスト三日市（健康増進支援センター）	9
・ 滝畑ふるさと文化財の森センター（研修宿泊施設）	9
・ 子ども子育て総合センター（あいつく）	7
・ コミュニティセンター	7
・ 福祉施設	6
・ 小中学校	5
・ 千代田台保育所	5
・ 三日市幼稚園	5
・ 奥河内くろまろの郷（ビジターセンター、レストラン）	5
・ シルバー人材センター	4
・ 医療・健康施設	4
・ スポーツ施設	4
・ 市民公益活動支援センター（るーぷらざ）	3
・ 市民交流センター（キックス）	3
・ 市民センター	3
・ 障がい者福祉施設	3
・ 図書館（キックス）	2
・ 公民館	2
・ 市営住宅	2
・ 河内長野荘	1
・ 寺ヶ池公園管理事務所	1

複合化の対象とすべき公共施設として、『林業総合センター（木根館）』が13件で最も多く、理由として「滝畑ふるさと文化財の森センターや、比較的知名度の高い奥河内くろまろの郷等と複合化すべき」などが挙げられている。続いて多いのは『資料館』が11件となっており、理由として「滝畑ふるさと文化財の森センターや奥河内くろまろの郷、林業総合センターなどを集めて、子どもの勉強にもなるような施設にし、大阪市内外からの観光客を呼び込む」などが挙げられている。

## (8) 機能集約や複合化を行う場合に充実させるべき機能等

(6) 今後、機能集約や複合化を行う場合に、充実させるべきとお考えの機能等があれば、その施設名（または、公共施設の種類）と機能等をお書きください。

公共施設の種類	件数
・スポーツ施設	10
・図書館（キックス）	9
・医療・健康施設	9
・奥河内くろまろの郷（ビジターセンター、レストラン）	7
・公民館	7
・シルバー人材センター	6
・フォレスト三日市（健康増進支援センター）	5
・市民センター	4
・小中学校	3
・滝畑ふるさと文化財の森センター（研修宿泊施設）	3
・市民公益活動支援センター（るーぷらざ）	3
・文化会館（ラブリーホール）	3
・福祉施設	3
・千代田台保育所	2
・三日市幼稚園	2
・子ども子育て総合センター（あいっく）	2
・河内長野荘	2
・市民交流センター（キックス）	2
・コミュニティセンター	2
・障がい者福祉施設	2
・資料館	2
・学校給食センター	2
・市庁舎	1
・林業総合センター（木根館）	1
・消防施設	1
・市営住宅	1
・その他（南河内のユートピア）	1
・その他（スーパー銭湯など）	1
（施設名の回答なし）	3

機能集約や複合化を行う場合に充実させるべき施設について、『スポーツ施設』が10件で最も多く、充実させるべき機能として「より利用しやすい体育館の改善」などが挙げられている。続いて『図書館（キックス）』と『医療・健康施設』がともに9件となっており、充実させるべき機能として『図書館（キックス）』は「自習室や相談窓口の整備」、『医療・健康施設』では「休日・夜間の救急医療」などが挙げられている。



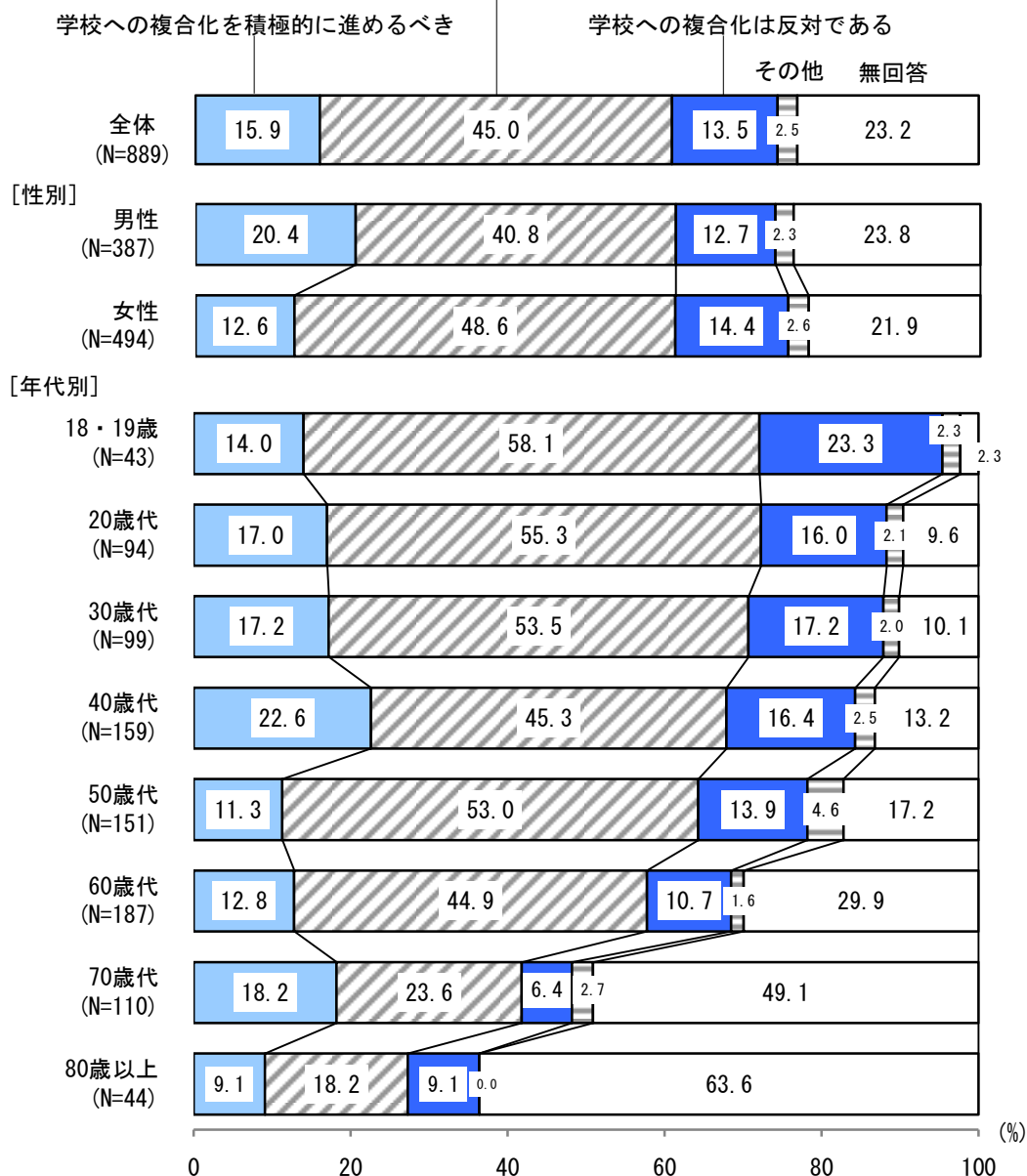
## (9) 小中学校と周辺の公共施設との複合化に対する考え

問35 小中学校は、地域活動等の拠点となる施設ですが、今後、子どもの減少に伴う空き教室の増加が見込まれます。今後、こういった空き教室の有効活用が考えられます。

(1) 教育面や防犯面の問題を考慮した上で、小中学校と周辺の公共施設との複合化について、あなたの考えに近いものに○印をつけてください。(○は1つ)

### ■ 性別・年代別

複合化する施設（機能）を限定すれば、学校へ複合化してもよい



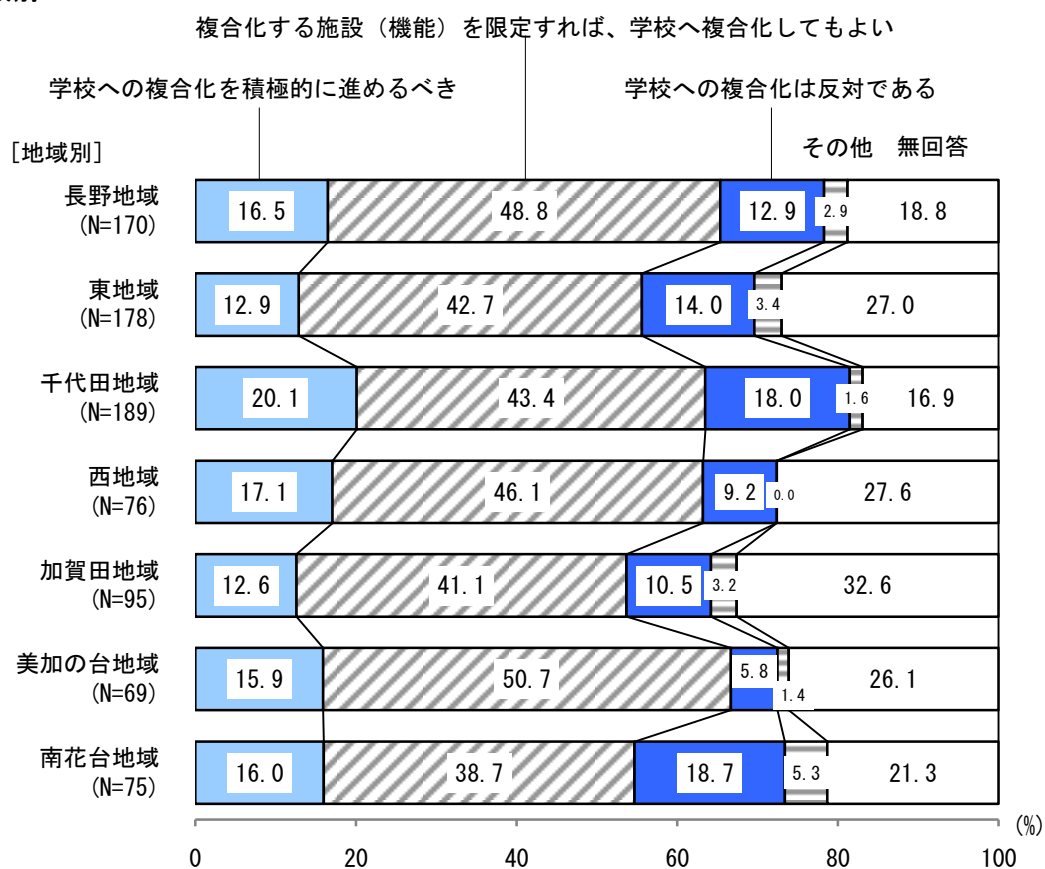
小中学校と周辺の公共施設との複合化に対する考えについて、「複合化する施設（機能）を限定すれば、学校へ複合化してもよい」が45.0%で最も多く、次いで「学校への複合化を積極的に進めるべき」が15.9%、「学校への複合化は反対である」は13.5%となっている。

性別で見ると、男女とも「複合化する施設（機能）を限定すれば、学校へ複合化し

てもよい」が最も多く、男性40.8%、女性48.6%で、女性のほうが7.8ポイント高い。また、「学校への複合化を積極的に進めるべき」では、男性が20.4%で女性（12.6%）に比べ7.8ポイント高くなっている。

年代別でみると、いずれの年代も「複合化する施設（機能）を限定すれば、学校へ複合化してもよい」が最も多くなっている。また、「学校への複合化を積極的に進めるべき」では40歳代が22.6%で他の年代に比べ高くなっている。一方の「学校への複合化は反対である」は年代が上がるほど低下傾向にあるが、「無回答」は増加している。

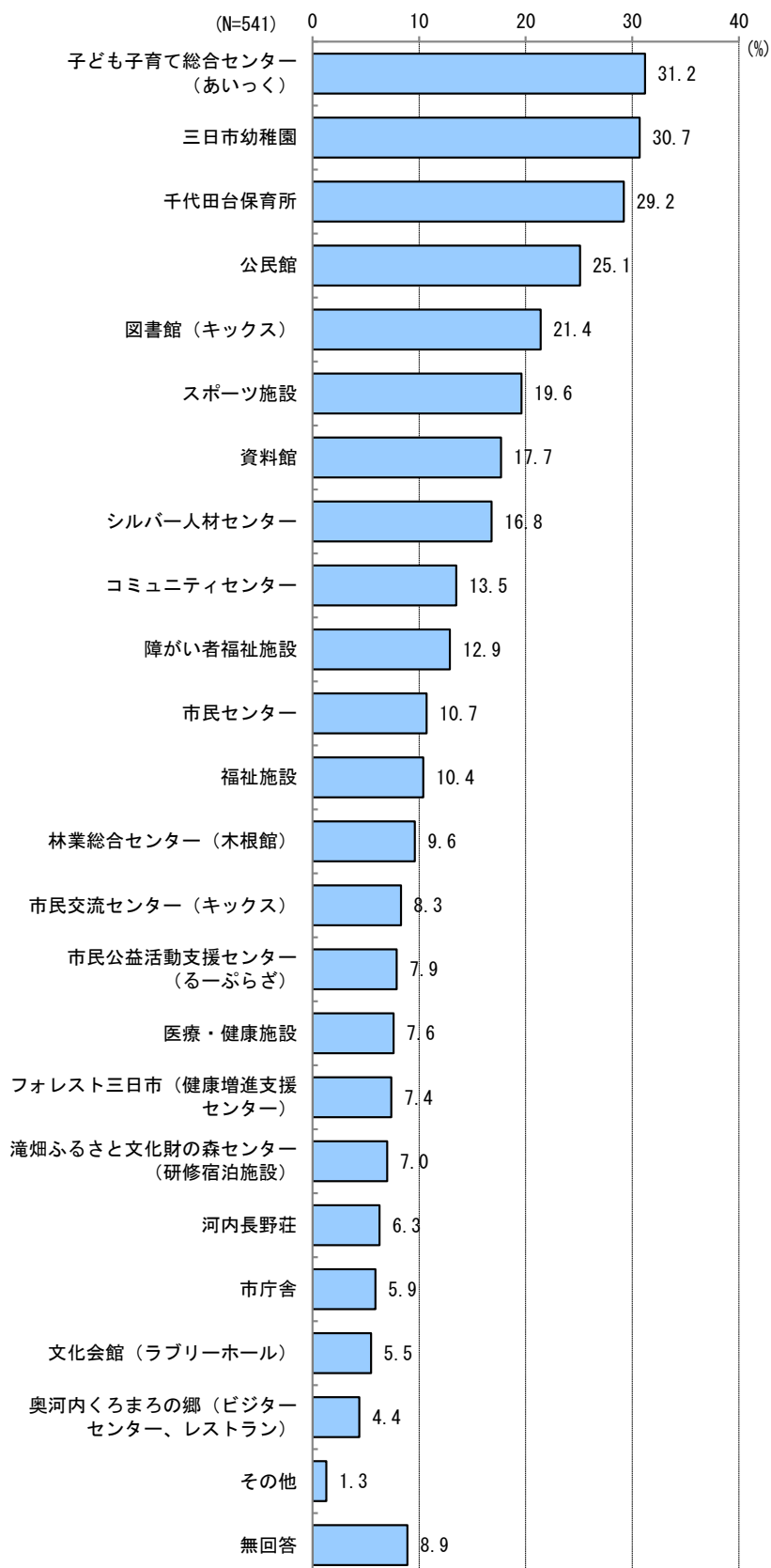
## ■ 地域別



地域別でみると、いずれの地域も「複合化する施設（機能）を限定すれば、学校へ複合化してもよい」が最も多く、なかでも美加の台地域は半数を占めている。また、「学校への複合化を積極的に進めるべき」では千代田地域が20.1%で他の地域に比べ高くなっている。一方の「学校への複合化は反対である」でも千代田地域が18.0%で他の地域に比べ高くなっており、南花台地域も18.7%と高くなっている。

## (10) 学校へ複合化してもよいと考える公共施設の種類

【(1) で「1. 学校への複合化を積極的に進めるべき」または「2. 複合化する施設（機能）を限定すれば、学校へ複合化してもよい」を選択された方におうかがいします。】  
 (2) 複合化してもよいと考える公共施設の種類を選び、番号に○印をつけてください。  
 (○はいくつでも)



学校へ複合化してもよいと回答した人に、複合化してもよいと考える公共施設の種  
類をたずねると、「子ども子育て総合センター（あいつく）」が31.2%で最も多く、次  
いで「三日市幼稚園」が30.7%、「千代田台保育所」が29.2%、「公民館」が25.1%、  
「図書館（キックス）」が21.4%となっている。

■ 性別・年代別・地域別

		N	市庁舎	千代田台保育所	三日市幼稚園	子ども子育て総合センター（あいつく）	フオレスト三日市（健康増進支援センター）	河内長野荘	森センター（研修宿泊施設）	滝畑ふるさと文化財の施設	奥河内くろまろの郷（レストラン）	根館 林業総合センター（木根館）	市民公益活動支援センター（るーがらぎ）	シルバー人材センター	文化会館（ラブリール）
<b>全体</b>		<b>541</b>	<b>5.9</b>	<b>29.2</b>	<b>30.7</b>	<b>31.2</b>	<b>7.4</b>	<b>6.3</b>	<b>7.0</b>	<b>4.4</b>	<b>9.6</b>	<b>7.9</b>	<b>16.8</b>	<b>5.5</b>	
性別	男性	237	8.9	29.1	29.5	27.8	7.2	7.6	9.7	5.9	11.0	8.4	12.7	8.4	
	女性	302	3.3	29.5	31.8	34.1	7.6	5.3	4.6	3.3	8.3	7.6	20.2	3.3	
年代別	18・19歳	31	-	25.8	22.6	16.1	-	3.2	-	3.2	3.2	3.2	3.2	6.5	
	20歳代	68	4.4	32.4	38.2	27.9	4.4	7.4	7.4	4.4	7.4	2.9	10.3	7.4	
	30歳代	70	2.9	28.6	27.1	18.6	1.4	1.4	2.9	2.9	7.1	4.3	27.1	5.7	
	40歳代	108	11.1	36.1	38.0	40.7	11.1	5.6	8.3	3.7	14.8	10.2	25.0	5.6	
	50歳代	97	5.2	35.1	35.1	38.1	7.2	9.3	6.2	5.2	8.2	9.3	13.4	4.1	
	60歳代	108	7.4	23.1	24.1	28.7	12.0	7.4	10.2	6.5	11.1	13.0	13.0	5.6	
	70歳代	46	2.2	19.6	23.9	32.6	4.3	8.7	8.7	4.3	8.7	6.5	13.0	2.2	
	80歳以上	12	8.3	8.3	16.7	33.3	16.7	-	8.3	-	8.3	-	25.0	16.7	
地域別	長野地域	111	6.3	31.5	25.2	34.2	4.5	6.3	4.5	4.5	9.0	9.9	17.1	7.2	
	東地域	99	3.0	20.2	28.3	27.3	5.1	5.1	7.1	3.0	13.1	6.1	15.2	2.0	
	千代田地域	120	6.7	30.8	29.2	34.2	8.3	7.5	6.7	6.7	11.7	11.7	14.2	7.5	
	西地域	48	-	41.7	39.6	31.3	4.2	8.3	10.4	6.3	8.3	6.3	16.7	4.2	
	加賀田地域	51	9.8	21.6	23.5	21.6	13.7	7.8	11.8	5.9	11.8	5.9	23.5	7.8	
	美加の台地域	46	2.2	23.9	34.8	26.1	13.0	4.3	4.3	-	2.2	4.3	17.4	4.3	
南花台地域	41	9.8	39.0	39.0	36.6	4.9	-	4.9	-	4.9	9.8	19.5	4.9		

		図書館（キックス）	市民交流センター（キックス）	市民センター	公民館	コミュニティセンター	福祉施設	障がい者福祉施設	医療・健康施設	スポーツ施設	資料館	その他	無回答
<b>全体</b>		<b>21.4</b>	<b>8.3</b>	<b>10.7</b>	<b>25.1</b>	<b>13.5</b>	<b>10.4</b>	<b>12.9</b>	<b>7.6</b>	<b>19.6</b>	<b>17.7</b>	<b>1.3</b>	<b>8.9</b>
性別	男性	23.2	11.4	13.9	27.0	16.5	11.0	13.9	8.4	25.3	19.0	2.1	7.6
	女性	20.2	6.0	8.3	23.8	11.3	9.9	12.3	7.0	15.2	16.6	0.7	9.9
年代別	18・19歳	25.8	9.7	6.5	25.8	9.7	3.2	12.9	-	12.9	12.9	-	3.2
	20歳代	26.5	5.9	7.4	32.4	5.9	5.9	13.2	5.9	17.6	20.6	2.9	10.3
	30歳代	22.9	7.1	12.9	25.7	15.7	7.1	11.4	12.9	22.9	14.3	-	8.6
	40歳代	24.1	8.3	12.0	21.3	15.7	11.1	13.9	10.2	22.2	12.0	0.9	13.0
	50歳代	11.3	10.3	10.3	28.9	14.4	16.5	12.4	5.2	18.6	21.6	-	7.2
	60歳代	26.9	8.3	10.2	22.2	15.7	9.3	13.0	4.6	15.7	19.4	1.9	7.4
	70歳代	10.9	8.7	13.0	19.6	13.0	15.2	15.2	13.0	26.1	17.4	2.2	10.9
	80歳以上	25.0	8.3	16.7	33.3	8.3	-	-	8.3	25.0	41.7	8.3	-
地域別	長野地域	14.4	7.2	9.0	21.6	9.0	7.2	12.6	6.3	19.8	15.3	1.8	11.7
	東地域	25.3	6.1	9.1	28.3	15.2	10.1	9.1	8.1	21.2	26.3	-	8.1
	千代田地域	30.0	9.2	12.5	20.0	15.8	10.8	14.2	5.8	16.7	19.2	-	9.2
	西地域	12.5	6.3	6.3	29.2	12.5	12.5	10.4	6.3	22.9	14.6	-	12.5
	加賀田地域	21.6	7.8	11.8	35.3	15.7	13.7	15.7	13.7	21.6	17.6	3.9	9.8
	美加の台地域	19.6	8.7	10.9	21.7	13.0	10.9	13.0	8.7	19.6	17.4	4.3	8.7
南花台地域	19.5	17.1	14.6	31.7	17.1	12.2	24.4	9.8	24.4	9.8	-	2.4	

性別で見ると、男性は「三日市幼稚園」が29.5%で最も多くなっており、「スポー

ツ施設」は女性に比べ10.1ポイント高くなっている。一方、女性では「子ども子育て総合センター（あいつく）」が34.1%で最も多く、男性に比べ6.3ポイント高くなっている。また、「シルバー人材センター」では、女性20.2%、男性12.7%で、女性のほうが7.5ポイント高くなっている。

年代別で見ると、18・19歳は「千代田台保育所」や「図書館（キックス）」、「公民館」が同率で最も多くなっており、20歳代は「三日市幼稚園」、30歳代は「千代田台保育所」、40～70歳代では「子ども子育て総合センター（あいつく）」、80歳以上になると「資料館」が、それぞれ最も多くなっている。

地域別で見ると、長野地域と千代田地域は「子ども子育て総合センター（あいつく）」、西地域は「千代田台保育所」、加賀田地域は「公民館」、美加の台地域は「三日市幼稚園」が、それぞれ最も多くなっており、東地域は「三日市幼稚園」と「公民館」、南花台地域は「千代田台保育所」と「三日市幼稚園」が、それぞれ同率で最も多くなっている。

## (11) 学校への複合化を反対する理由

【(1)で「3. 学校への複合化は反対である」を選択された方におうかがいします。  
(3)その理由を記入してください。

①複合化することで安全性の確保が困難になる		件数
具体的内容	教育・防犯面の問題を全て解決できると思わない	37
	教育の場へ不特定多数の人が訪れるのは、防犯・安全面が心配である	
	学校にいろんな人の出入があると、犯罪などが起こる可能性が高くなると思う	
	誰でも出入りできるようになると不審者などの侵入が不安	
	多くの人が小中学校を利用することになると不審者が入っても見つけにくくなり危険だから	
	子ども達の安全を考えると、第三者との接触は避けるべき	
	安全面を確実に確保できる気がせず、できたとしても最初の混乱が予想される	
②学校は教育の場として単独であった方がよい		件数
具体的内容	学校は学校であって、何かと一緒にするべきではない	16
	学校のあるべき姿を守り、小・中・高と各年代の子ども達が学び、生活する場であってほしい	
	学校は学びの場所なので、他の施設等を入れるべきではない	
	学校には学校の役割がある	
	教育現場に部外者が入るべきでない 今までの形で問題を感じていない	
③子どもへの影響が懸念される		件数
具体的内容	子どもに負担	12
	教育妨げにならないか心配、混乱を避けたい	
	児童同士の関係が薄くなる	
	子どもが落ち着いて勉強できない	
	子どもの学校が変わるのはかわいそう	
④その他		件数
地域が広がると、地域での生活や過疎化に影響を及ぼす		3
複合化ではなく、廃校にして後の利用を民間に託す		2
各学校に歴史や伝統があるので学校としてあり続けてほしい		2
空き教室が増える原因である少子化に対策を。小学生くらいの歳の転出率が高いのが問題		1
学校自体に問題が沢山あるのに他の施設と複合化しても複雑になるだけ		1
災害が起こった時の避難場所になると思うので、現状のままでもよいのでは		1
学生がいる世帯の住民や近隣の住民しか利用しないだろうと思うので		1
空き教室を利用する用途が無いように感じる		1
<例外> “統合化”として懸念する意見（通学が遠くなる等）		14

学校への複合化は反対であると回答した人に、その理由をたずねると、「複合化することで安全性の確保が困難になる」が37件で最も多く、次いで「学校は教育の場として単独であった方がよい」が16件、「子どもへの影響が懸念される」が12件となっている。

(12) 公共施設への取組みについて

問36 本市の公共施設への取組みについて、ご意見があればご自由に記入してください。

● 今後の公共施設の整備について	件数
くろまるの郷が観光地として発展するように取り組んでほしい	8
もっと公共施設の存在をアピールする	6
駅周辺の土地を有効利用して開発してほしい	6
高齢化の加速が予想されるので、高齢者向けの施設を整備してほしい	4
河内長野の魅力の一つが自然であるなら、そのものを生かすということを考える	4
体育館やスポーツ施設の充実に力を入れてほしい	4
災害時を考えた整備が望まれる	3
公共施設を一ヶ所に集めて交通手段を充実させる	3
既存のプールの開放や改修で利用できるようにしてほしい	3
他の自治体の公共施設に関する取組みに学ぶ	2
図書館のさらなる充実を望む	2
ラプリーホールに有名なアーティストを呼ぶ等、活性化を図る	2
新しい施設等は不要	2
市民が気軽に自由に使えるスペースは必要	2
図書館は他市と比べても立派だと感じているので活発な取組みを継続してほしい	2
公立の保育所を増やしてほしい	1
本庁は利用しづらいので分署を作ってほしい	1
少子高齢化が進む中 町づくりの再構築が必要	1
林業総合センターを公的なホームセンターみたいなものにする	1

● 公共施設の機能集約・複合化について	件数
複合化を進め、学校を習い事、集会所、スポーツ等に利用する	7
学校の空き教室を高齢者サービスや高齢者と子どもがふれ合う機会に利用する	7
機能集約・複合化を進め、費用は適正な用途にする	6
今ある施設をむやみに廃止することはやめてほしい	3
学校の空き教室の活用について、児童及び生徒が安全に勉強できる環境であることが必須	2
公共施設の機能集約や複合化を実施する場合には高齢者、障害者の移動手段を考慮する必要がある	1

● 公共施設の現状への意見	件数
あいつくは良い施設、充実している	5
誰がどんな時に、利用するのかわからない施設がある	5
くろまるの郷について、中身が充実していない等	5
くろまるの郷は立地条件が悪い	4
限られた人しか利用しない公共施設等には不公平感を感じる	4
公園が汚れていたり、除草されていなかったりする	2
限られた世代向けの公共施設が多い	2
今後も公共施設の使用状況や活用の内容について知りたい	2
寺ヶ池公園に関しては、市外からの観光客も集客できる魅力的な公園となる要素がある	1

● 財政面について	件数
安定した収益のために企業誘致を行う	3
公共施設に維持管理が必要なのは当然であり、財源不足となる計画、運営に疑問を感じる	2
財政状況を考え、新たな設備投資はいらない	2
収支内訳をはっきり示して頂きたい	1

## IV. まとめ

### 2. 公共施設について

#### <公共施設の利用状況について>

利用頻度について、[市庁舎]は「年に数回程度」で60.7%と多くなっているが、月に1回以上利用している施設では、[図書館（キックス）]が21.2%で最も多く、次いで[奥河内くろまろの郷（ビジターセンター、レストラン）]が10.1%、[市庁舎]が7.5%、[小中学校]が7.3%となっている。しかし、[市庁舎]と[図書館（キックス）]を除く公共施設を利用していない人は5割以上を占めている。利用頻度が少ない理由としては「利用する機会がなかった」が最も多く、「施設自体を知らない」が3割台となっている。

#### <今後の公共施設の整備の方向性について>

全体の半数以上の人々が「機能集約や複合化により、施設数を減らし、維持管理していく」方向性の考えに近く、今後必要な対策として「公共施設の機能集約や複合化を行い、施設数を減らす」取組みや、「利用しない施設や市有地の全部又は一部を売却・賃貸し収入を得る」、「民間にできることは民間に任せ、運営コストを削減する」などの取組みを支持する人が多くなっている。よって、機能集約や複合化により施設数を減らす対象となる公共施設は「あまり利用されていない施設」や「現在の市民ニーズにあっていない施設」が多く挙がっている。

#### <学校と公共施設との複合化について>

「複合化する施設（機能）を限定すれば、学校へ複合化してもよい」という考えが45.0%で最も多く、積極的な推進派が15.9%、反対派は13.5%、無回答が23.2%となっている。学校への複合化に肯定的な人が、複合化してもよいと考える公共施設として「子ども子育て総合センター（あいつく）」や「三日市幼稚園」、「千代田台保育所」といった子育て支援を主とする施設が多く挙がっている。一方、学校への複合化に否定的な人の意見として「安全性の確保」への不安が多く挙がっている。